

衆議院災害対策特別委員会ニュース

【第 211 回国会】令和 5 年 8 月 8 日(火)、第 8 回の委員会が開かれました。(閉会中審査)

- 1 令和 5 年梅雨前線による大雨に係る被害でお亡くなりになられた方々に対し、黙祷をささげました。
- 2 災害対策に関する件(令和 5 年梅雨前線による大雨に係る被害状況等)
 - ・令和 5 年梅雨前線による大雨に係る被害状況等調査のため、福岡県及び佐賀県に派遣された委員を代表して、江藤委員長から報告を聴取しました。
 - ・谷国務大臣(防災担当)から説明を聴取しました。
 - ・谷国務大臣(国土強靱化担当・防災担当)、星野内閣府副大臣、野中農林水産副大臣、豊田国土交通副大臣、金子財務大臣政務官、古川国土交通大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。(質疑者) 鳩山二郎君(自民)、岩田和親君(自民)、吉田宣弘君(公明)、原口一博君(立憲)、堤かなめ君(立憲)、寺田学君(立憲)、山本剛正君(維新)、古川元久君(国民)、田村貴昭君(共産)

(質疑者及び主な質疑事項)

鳩山二郎君(自民)

令和 5 年梅雨前線による大雨に係る被害状況等

- ア 土石流の兆候がある危険な箇所への対策
- イ 地域住民から要望されている筑後川の浚渫の迅速化に対する政府の見解
- ウ 国道 210 号の冠水箇所を早急に改善する必要性
- エ 被災農家に対する新しい補償制度を創設する必要性
- オ 激甚災害の指定を受けた農業被害者に対する雇用調整助成金の適用の有無
- カ 被災家屋の畳の乾燥及び消毒に要する経費が特別交付税の算定に反映されることの確認
- キ 粉じんによる健康被害への対策

岩田和親君(自民)

- (1) 令和 5 年梅雨前線による大雨に係る被害状況等
 - ア 災害発生時の初動体制の強化に向けた取組状況
 - イ 被災農業者の離農防止を目的とした営農支援の必要性
 - ウ 海に流れ込んだ流木等漂着ごみ被害に対する取組状況
 - エ 佐賀県の田んぼダム等による内水氾濫対策事業に対する評価及び推進策
 - オ 佐賀平野の内水氾濫対策に係る取組の方向性
- (2) 国土強靱化に係る 5 か年加速化対策後の実施中期計画策定、予算確保及び必要な事業の推進に向けた決意

吉田宣弘君(公明)

- (1) 令和 5 年梅雨前線による大雨に係る被害状況等
 - ア 激甚災害指定に係る災害の期間及び対象地域
 - イ 浸水被害を受けた田主丸中央病院の復旧に関して医療施設等災害復旧費補助金を適切に活用していく必要性
 - ウ 災害時における福祉医療機構による貸付制度の概要
 - エ 大雨となった 7 月 10 日の九州自動車道の通行止めの状況
 - オ 赤谷川地域での砂防堰堤設置による効果

(2) 国土強靱化に係る5か年加速化対策後の実施中期計画策定及び予算確保に向けた谷大臣の決意

原口一博君（立憲）

令和5年梅雨前線による大雨に係る被害状況等

- ア 佐賀県唐津市に対する事前の線状降水帯発生の可能性についての発表の有無
- イ 岸田内閣総理大臣による7月10日及び14日の指示の妥当性及び福岡県久留米市の視察における補助金に係る発言の真意
- ウ 激甚災害の指定時期及び査定前着工制度の内容
- エ 農地及び農業の担い手の現状
- オ 防災と農地及び農業の関係に対する谷大臣の所見
- カ 佐賀県唐津市における避難行動要支援者の割合及び実際に避難した要支援者の割合

堤かなめ君（立憲）

(1) 令和5年梅雨前線による大雨に係る被害状況等

- ア 激甚災害指定に係る日程的目途
- イ 土砂災害警戒区域に属さない区域の被災状況及び福岡県の区域指定の見直し状況
- ウ 被災した中小企業等に対する生業再建支援事業等の支援策の必要性
- エ 災害拠点病院が被災したことに対する政府の認識及び今後の対応策

(2) 第5次社会資本整備重点計画における一級河川整備率の目標に対する全国及び筑後川水系の達成見込み並びに気候変動により増大する降水量等を考慮した河川整備基本方針に見直す必要性

寺田学君（立憲）

- (1) 地方自治体が被災者の申請なしに罹災証明書を発行することが法的に可能であるかの確認
- (2) 簡素化した罹災証明書の申請様式を基本とする旨を国が通達する必要性
- (3) 罹災証明書等発行のための調査の簡略化・迅速化を図る必要性

山本剛正君（維新）

(1) 令和5年梅雨前線による大雨に係る被害状況等

- ア 福岡県における国の災害対応
- イ 災害復旧事業等の補助対象の拡大及び新たな制度創設の必要性
- ウ 被災農林漁業者が早期に経営を再開できるように集中的に支援する必要性
- エ 被災した商工業者に対する支援内容

- (2) 大規模災害に対し復興特別税を活用することについての政府の見解
- (3) 九州地方の治水事業及び砂防事業の見直し及び予算拡大の必要性
- (4) 仮設住宅としてキャンピングカーを活用する必要性

古川元久君（国民）

(1) 令和5年梅雨前線による大雨に係る被害状況等

- ア 観測史上一位を超える降水量を記録することが多い状況を踏まえた今後の気象動向の見解
- イ 内水氾濫対策として、河川の浚渫工事等を推進する必要性
- ウ 国の災害法制や支援策を昨今の災害の頻発化や激甚化に対応したものに見直す必要性

(2) 巨大地震が発生した場合に為替相場へ与えるリスク及びリスクに備えた対応

田村貴昭君（共産）

- (1) 繰り返し発生する大規模な大雨災害を防ぐための治水対策の加速化の必要性
- (2) 被災した農家のため農地利用効率化等支援事業の被災農業者支援タイプ発動の必要性
- (3) 共済や収入保険に加入していない農業者への支援の検討状況
- (4) 豪雨被害を受けた重要無形文化財に係る施設の再建に対する支援内容
- (5) 被災者生活再建支援法の適用基準において全壊家屋の戸数を撤廃すべきとの考えに対する谷大臣の見解
- (6) 被災者生活再建支援金を物価見合いで引き上げるべきとの考えに対する谷大臣の見解